

社会に開かれた教育課程について

☆我が国の課題「急激な社会の変化にどう対応するか」

1 学習指導要領改訂の背景

- ・情報化やグローバル化など急激な社会的変化の中で生きる子どもたち

人工知能（AI）が進化して、人間が活躍できる職業はなくなるのではないか。

今学校で教えていることは、時代が変化したら通用しなくなるのではないか

つまり、子どもたちに「**厳しい時代を乗り越え、未来を拓く力**」が必要

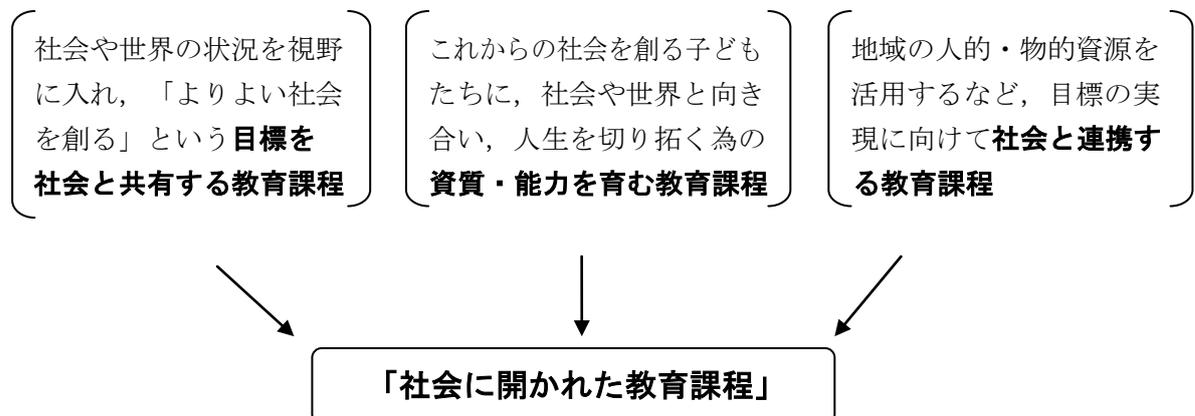
2 次期学習指導要領が目指す基本的な方向性

子どもたちに“未来の創り手となるために必要な知識や力”を確実に備えることのできる学校教育



これからの社会を創る子どもたち＝よりよい社会を創る人材

学ぶことと社会のつながりを意識したカリキュラム（教育課程）をつくる



“よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る”ことを目指す

〔県立学校における実践例〕

○県立東葛飾高校「医歯薬コース」～大学、医師会等と連携した教育課程

本県の医師不足の実態を踏まえ、将来の地域医療を担う人材の育成を図る為、「医歯薬コース」を設置する。



柏市医師会と消防署連携教育
トリアージ演習



胃カメラ実習



注射器を比較する

「学力」、「人間力」、「教養」を高め、生涯にわたるキャリアアップを通しグローバル社会で活躍する基礎を培う。



「医療事故」の講義

国立がん研究センターでの縫合体験



「医歯薬コース」では、柏医師会との連携プログラム、国立がんセンター等でのインターンシップ、医師との座談会等を実施。